

平山郁夫 遥かな道



《平成の洛中洛外(右)》2003年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

2022年

4月2日(土)～6月5日(日)

※会期中無休

開館時間：午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

入館料：一般1,000円(4枚セット券3,000円)／大学生800円／
高校生500円／中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援：中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

企画協力：公益財団法人平山郁夫美術館、公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

ご来館の際は、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症の予防にご協力下さい。

記念講演会

関連
イベント

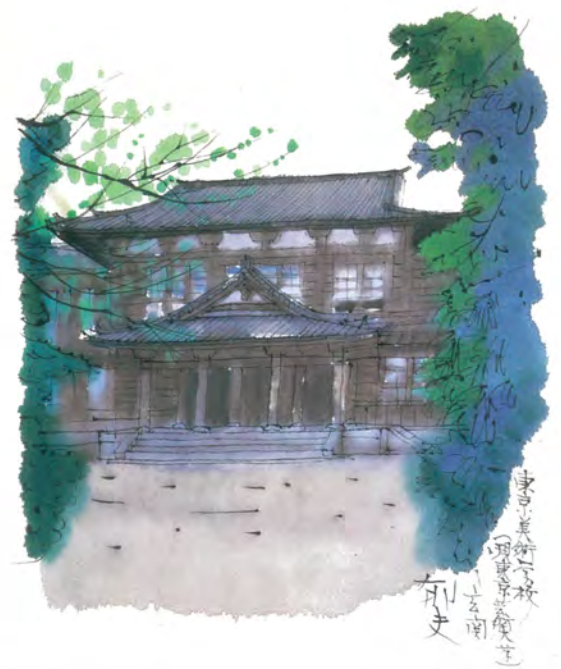
日時：4月24日(日) 午後2時～午後3時30分

演題：「平山郁夫 歩き続けて、描き続けて」

講師：幸野昌賢(平山郁夫美術館学芸員・本展監修者)

参加料：無料(要入館券) 当日受付、先着50名

※関連イベントは諸事情により、中止になる可能性がございます



《東京美術学校玄関》1991年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

平山 郁夫 遥かな道



《アラビアの女性》1973年 個人蔵(平山郁夫美術館寄託)



《カシミールの湖(ダラ湖)》1983年 個人蔵(平山郁夫美術館寄託)



《大山祇神社本殿拝殿》1999年 平山郁夫美術館蔵



《敦煌 A》1980年 平山郁夫美術館蔵

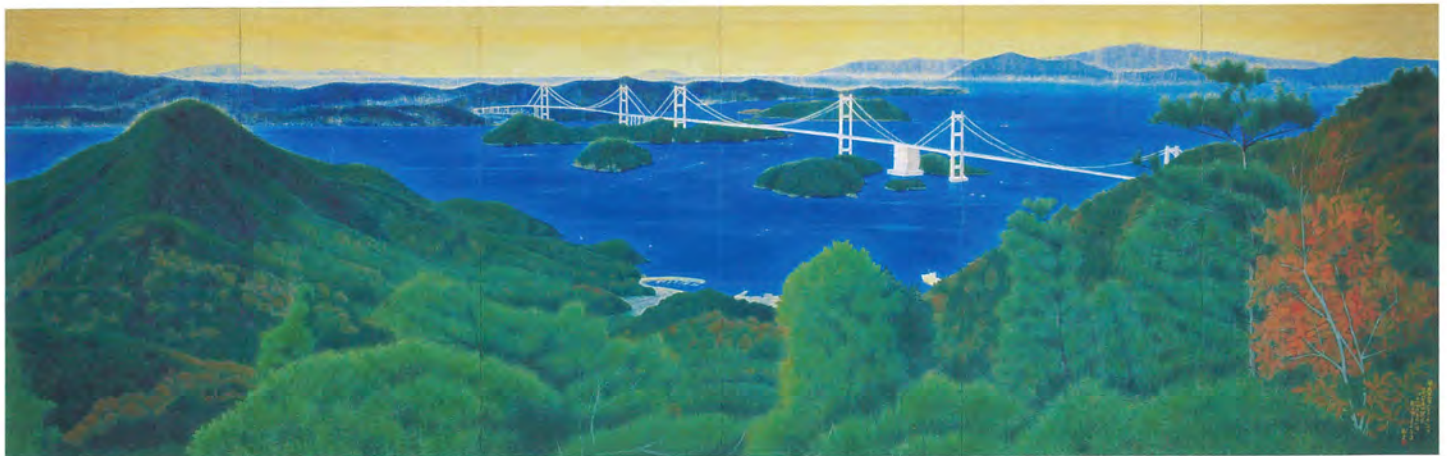


《北山への道》2004年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

平山郁夫(ひらやまいくお)1930(2009年)は、昭和5年広島県瀬戸田町に生まれ、瀬戸内の青い海や緑の島々の織り成す豊かな自然の中で少年期を過ごしました。神秘的な潮の流れや群青色の海は、平山少年の心に大きな影響を及ぼし、画家・平山郁夫の感性は、瀬戸内の風土に育まれたといえましょう。

しかし、昭和20年、中学3年生の時、広島市で被爆。後遺症に苦しみながらも、やがてその体験は、「仏教伝来」を初めとする平和を願う作品を描くことに繋がります。この記念碑的作品《仏教伝来》で日本画壇の一員となった平山郁夫は生涯をかけ、日本文化の源流を求めてシルクロード取材し多くの作品を残しました。

本展では、その人生をエッセイと共に描いた《道遙かシリーズ》、ライフワークとなった《薬師寺・玄奘三蔵院の大唐西域壁画》の天下図、世界が認める文化としての京都を描いた《平成の洛中洛外シリーズ》、そして限らない郷土愛を注いだ《しまなみ海道シリーズ》で、平山郁夫の画業を振り返ります。



《天かける白い橋 瀬戸内しまなみ海道》2000年 平山郁夫美術館蔵

次回展示のお知らせ

会期 **2022.6.9(木) ▶ 7.31(日)** **第16回パラミタ陶芸大賞展**

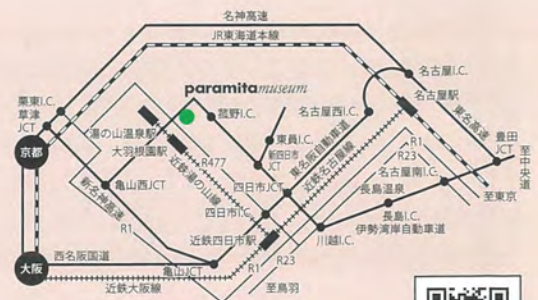
投票期間 **6/9(木) ~ 7/13(水)** **大賞発表式 7/24(日)**

●出品作家(五十音順)
 澤谷由子(石川県) / 田中悠(京都府)
 田中陽子(茨城県) / 橋本知成(滋賀県)
 堀貴春(石川県) / 村田彩(京都府)

同時開催 香川元太郎 迷路絵本展

香川元太郎(1959~)は、愛媛県生まれの作家で、かき絵・迷路イラストを多数制作するほか、歴史考証イラストレーターとして歴史の教科書や資料集などに作品を描いています。本展では代表作である《迷路》絵本の原画と、日本の《お城》シリーズの原画を合わせてご紹介いたします。

■お車をご利用の場合 / ○東名阪[四日市IC]より瀬の山温泉方面へ約6.5km ○新名神[笠野IC]より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
 ■電車をご利用の場合 / 近鉄[四日市駅]より近鉄瀬の山線にて約25分、[大羽根園駅]下車、瀬の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備



公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com

https://www.paramitamuseum.com Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

